

(県連会長挨拶)

皆様、おはようございます。高いところから失礼いたします。

自由民主党滋賀県支部連合会会長を拝命しております武村展英と申します。

まず初めに、昨日、静岡県熱海市で土石流によりまして被災をされた皆様方に対しまして、改めてお悔やみ、お見舞いを申し上げたいと存じます。

そしてまた、新型コロナウイルス感染症でお亡くなりになられた方に対しまして、心からお悔やみを申し上げますとともに、今もなお、終息をしない中で医療に従事をして頂いている医療従事者の皆様、また、ワクチン接種において各地でご尽力頂いています市町の皆様、医療関係の皆様に対しまして、改めて心からの感謝を申し上げたいと存じます。

さて、本日自由民主党滋賀県支部連合会定例会におきまして、今年も縮小開催となってしまいました。

こうした中でも来賓として友党公明党から滋賀県本部代表・中村才次郎様、滋賀県知事・三日月大造様、東近江市長・小椋正清様をはじめとする来賓の皆様には公務ご多忙の中、曲げて定例会にご出席頂きましたこと、高席からではございますが、心から感謝を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が国内で発見されて以来、1年以上が経過をいたしました。

まさに国難ともいえる状況が続いています。

我々の生活は大きく制約を受け、また経済、農林水産業をはじめとする産業全体が大きく疲弊をしております。

新型コロナウイルス感染症の対策につきましては、滋賀県選出の小鍮隆史参議院議員が厚生労働大臣政務官として今最前線で頑張っているところではございます。

終息の切り札であるワクチン接種につきまして市町の皆様、医療従事者の皆様には大変なご尽力で相当なペースでこの接種を行っていただいている中で、7月分の一般接種にかかる第9クール分、第10クール分のワクチンの供給が減少してしまう。

また、職域接種におきましては現在、申請を精査させて頂いているところではあります。

すでに職域接種の計画を立て、段取りを頂いている中で、本当に計画的に接種が実行できるのかどうか、非常に不安定な状況の中で、また明確なご回答ができておりません。

こうした事態に対しまして、改めて心から申し訳なくお詫びを申し上げますとともに、今後ワクチン供給の明確な見通しをお示しするとともに、ワクチン量総量の確保に全力を務めていきたいと考えております。

自民党滋賀県連の活動といたしましては昨年11月に淀川水系における治水対策推進についての勉強会を自民党京都府連と合同で実施をさせて頂きました。

現政権は、カーボンニュートラル、2050年までにゼロを掲げておりますが、こうした流れの中で世界的にカーボンニュートラルゼロを達成したとしても産業革命時代から2℃以上気温が上昇することが確実視されており、それによって現在の洪水の回数が21世紀末には2倍になるという試算も出ているところです。

国ではハード、ソフトを含めてすべての手立てを打っていく、そうした流域治水関連法案を成立させることができました。

こうした中、下流府県との連携で河川整備計画変更プロセスが今、順調に進んでいるところです。

各級議員の皆様と共に連携をしながら治水対策を今後も引き続き進めてまいりたいと思います。

大津・山科バイパスも自民党京都府連、皆様と共に進めさせて頂きましたが、この様なインフラ整備にもつとめていきたいと思っております。

国では、自民党と公明党の連立政権が21年になります。

これまで安定した政治基盤の中で様々な施策を前に進めさせて頂きました。小鍵参議院議員と熊野せいし参議院議員が共に戦わせて頂いた参議院議員選挙から早5年が経過しようとしています。

本年は公明党の皆様との間で特に青年局、女性部の連携事業を実施することによって行わせていただきたいと思っております。

10月には、東近江市、米原市、野洲市、甲賀市と市議会議員の選挙がございます。

そして私自身もタスキをかけさせて頂くことになります。

衆議院議員の任期が10月21日と迫っております。

それまでのどこかで解散総選挙がございます。

国政調査の速報値が先日発表をされました。

滋賀県の定数が現在の4人から3人になる。

こうした見通しが明らかとなり、衆議院議員4名はこれまでのお世話になりました選挙区の中で戦う最後の衆議院選挙となります。

各級選挙での所属議員全員の当選を目指して私自身も頑張っていますので、どうかご支援、ご指導を頂きますようお願いを申し上げる次第でございます。

これまでの県連としての活動は、コロナ禍の中でほとんど事業が出来ていない状況にあります。

しかしながらワクチン接種が進めば、恐らく年明けには様々な事業が出来るのではないかと考えています。

そうした思いを本日の大会の議案に反映させて頂きました。

特に各支部、各連協、各選挙区支部、県連でそれぞれが総会以外に事業を実施していくことによって、それを党員の皆様にお見せすることによって「自民党頑張っているな」と言って頂けるような党運営をしていきたいと思っております。

こうした議案に慎重審議をいただきますと共に、今後の党員の皆様のご健勝、ご多幸を心からご祈念を申し上げまして、一言のご挨拶とさせていただきます。本日どうぞ宜しくお願い致します。